

静岡県 の 財政状況

平成22年9月14日

静 岡 県

富国有徳の理想郷

しずおか



目 次

[説明資料関連ページ]

<“ふじのくに”の概況>	静岡県の人⼀・経済及び産業の状況	1	(5)
	静岡県に関する各種指標統計	2	(5)–(6)
	富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況	3	(15)
<静岡県の財政状況>	平成21年度一般会計 歳入決算の状況	4	(20)
	平成22年度一般会計 歳入予算の状況	5	(20)
	一般会計 歳入決算の推移	6	(20)
	一般会計 歳入(県税)決算の推移	7	(21)
	平成21年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況	8	(22)
	平成21年度一般会計 歳出(款別)決算の状況	9	(22)
	平成22年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況	10	(22)
	平成22年度一般会計 歳出(款別)予算の状況	11	(22)
	一般会計 歳出決算の推移	12	(22)
	(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移	13	
	平成20年度 特別会計決算の状況	14	
	平成20年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)	15	(23)
	平成20年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)	16	(23)
	地方公社の改革計画への取組	17	(24)
	地方公社の決算状況	18	(24)
	静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況	19–21	(25)
	財政の中期見通しと健全化への取組	22–33	(26)
	財政関係指標の推移(普通会計)	34–36	(26)
	平成20年度 静岡県の財務諸表	37–39	
	県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)	40	(27)
<静岡県の起債運営>	財政5基金の年度末残高の推移	41	
	減債基金への積立ての状況	42	(30)
	プライマリーバランスの推移	43	
	静岡県公募公債の発行状況	44	(31)

静岡県人口・経済及び産業の状況

○静岡県の人口及び全国順位の推移

(単位：千人、%)

項目	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
静岡県人口数(A)	3,776	3,767	3,781	3,786	3,793	3,795	3,792	3,797	3,801	3,800	3,792
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
全国人口(B)	126,686	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770	127,771	127,692	127,510
本県シェア(A/B)	2.98	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.98	2.97

※各年度10月1日現在での推計人口(総務省統計局データ)による

○静岡県の県内総生産及び一人当たり県民所得の推移

項目	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
県内総生産(百万円)	16,176,760	16,099,471	15,903,505	16,726,117	15,901,511	16,273,174	16,190,096	16,257,540	16,776,443	17,062,020	16,927,524
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
一人当たり県民所得(千円)	3,316	3,259	3,210	3,391	3,209	3,254	3,216	3,236	3,332	3,388	3,384
全国順位	8	5	5	3	4	3	3	3	3	3	3

※各年度の数値は「県民経済計算について(内閣府 経済社会総合研究所)」による

○静岡県の製造品出荷額の推移

(単位：億円、%)

項目	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
静岡県製造品出荷額	163,419	159,122	166,108	161,863	161,851	159,638	166,998	173,227	182,347	194,103	191,777
全国順位	5	5	5	5	3	3	3	3	3	3	3
全国製造品出荷額	3,058,400	2,914,496	3,004,776	2,866,674	2,693,618	2,737,344	2,839,670	2,958,003	3,146,194	3,367,566	3,355,788
本県シェア	5.3	5.5	5.5	5.6	6.0	5.8	5.9	5.9	5.8	5.8	5.7

※各年度の数値は経済産業省公表の「工業統計表産業編(概要版)」による

静岡県に関する各種指標統計

区分	項目	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
県勢基本	静岡県人口数（千人）	3,792	3,797	3,801	3,800	3,792
	全国順位	10	10	10	10	10
	合計特殊出生率（人） （千人当たり）	1.34	1.39	1.44	1.44	1.43
	全国順位	17	19	14	15	15
経済産業	県内総生産（億円）	167,764	170,620	169,275	—	—
	全国順位	10	10	10	—	—
	製造品出荷額等（億円）	173,227	182,347	194,103	191,777	—
	全国順位	3	3	3	3	—
	実質経済成長率（%）	5.3	3.2	0.6	—	—
	全国数値（%）	2.3	2.3	1.9	—	—
	医薬品生産額（億円）	6,738	6,308	6,096	5,600	—
	全国順位	2	1	2	2	—
	医療用機械器具、同装置 出荷額（億円）	917	958	1,083	1,249	—
	全国順位	2	2	1	1	—
	農業産出額（億円）	2,516	2,443	2,308	2,281	—
	全国順位	12	13	13	13	—
	海面漁業・養殖業生産額 （億円）	544	581	665	637	—
	全国順位	7	6	6	6	—
	ホテル・旅館数	4,306	4,199	4,107	4,028	—
	全国順位	1	1	1	1	—
	企業立地件数	85	102	124	144	44
全国順位	3	3	1	1	5	
有効求人倍率	1.17	1.24	1.20	0.87	0.40	
全国数値	0.98	1.06	1.02	0.77	0.45	

区分	項目	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
経済産業	完全失業率（%）	3.1	2.8	2.6	3.0	4.2
	全国数値	4.4	4.1	3.9	4.0	5.1
教育	大学・短大学生数（人）	40,929	40,652	39,693	39,079	38,412
	全国順位	14	14	15	15	15
	大学・短大等進学率（%）	49.2	50.7	52.1	52.6	54.3
	全国順位	18	16	16	18	16
	図書館数	86	89	91	90	92
	全国順位	9	—	—	—	—
くらし・環境	持ち家率（%）	65.7	—	—	—	—
	全国順位	32	—	—	—	—
	住宅延面積（㎡） （1世帯当たり）	100.0	—	—	—	—
	全国順位	27	—	—	—	—
	エコアクション21認証登録 事業者数（件）	—	—	284	438	606
	全国順位	—	—	1	1	1
健康福祉	子育て支援拠点 公立中学校数に対する設置割合（%）	—	—	92.0	—	—
	全国順位	—	—	1	—	—
	国民医療費（千円） （1人当たり）	234	—	—	—	—
	全国順位（昇順）	6	—	—	—	—
	1日平均在院・外来患者数（人） （10万人当たり）	1,858	1,901	1,747	1,687	—
	全国順位（昇順）	4	4	3	3	—
	生活保護率（‰）	4.3	4.4	4.5	4.7	—
	全国順位（昇順）	8	8	8	8	—
行政	市町村への事務移譲実施数	—	114	115	115	120
	全国順位	—	1	1	1	1

富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況

路線		提供座席数(席)	搭乗者数(人)	搭乗率(%)	
国内線	札幌線	162,620	116,885	71.9	
		FDA	10,144	7,194	70.9
		ANA	86,402	57,212	66.2
		JAL	66,074	52,479	79.4
	小松線	FDA	93,724	41,529	44.3
	福岡線	208,059	138,128	66.4	
		FDA	30,144	18,868	62.6
		JAL	177,915	119,260	67.0
	熊本線	FDA	46,184	22,275	48.2
	鹿児島線	FDA	48,548	29,454	60.7
	沖縄線	ANA	86,282	67,921	78.7
		チャーター便	3,152	2,550	80.9
	国内線計	648,569	418,742	64.6	
国際線	ソウル線	256,634	177,760	69.3	
		アジアナ	129,344	92,863	71.8
		大韓	127,290	84,897	66.7
	上海線	東方航空	38,898	19,630	50.5
	チャーター便(台湾、香港、スイスほか)	23,774	18,529	77.9	
		国際線計	319,306	215,919	67.6
合計		967,875	634,661	65.6	

※開港1年間(H21.6.4～H22.6.3)の実績値

※無償旅客分を含む

※欠航便、ダイバート便(他空港への降客)、引き返し便を除く

平成21年度一般会計 歳入決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成21年度 決算	平成20年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成21年度	平成20年度
歳入決算額	1,214,551	1,143,493	71,058	6.2	100.0	100.0
県税	417,802	541,183	△ 123,381	△ 22.8	34.4	47.3
地方消費税清算金	76,653	72,808	3,845	5.3	6.3	6.3
地方譲与税	22,572	2,966	19,606	661.0	1.9	0.3
地方特例交付金	5,791	7,918	△ 2,127	△ 26.9	0.5	0.7
地方交付税	148,379	116,105	32,274	27.8	12.2	10.1
交通安全対策特別交付金	1,357	1,327	30	2.3	0.1	0.1
分担金及び負担金	5,981	6,759	△ 778	△ 11.5	0.5	0.6
使用料及び手数料	17,580	16,884	696	4.1	1.4	1.5
国庫支出金	201,996	130,116	71,880	55.2	16.6	11.4
財産収入	3,952	3,127	825	26.4	0.3	0.3
寄附金	284	602	△ 318	△ 52.8	0.0	0.1
繰入金	36,076	17,579	18,497	105.2	3.0	1.5
繰越金	9,487	10,410	△ 923	△ 8.9	0.8	0.9
諸収入	32,660	32,014	646	2.0	2.7	2.8
県債	233,981	183,695	50,286	27.4	19.3	16.1

平成22年度一般会計 歳入予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成22年度 当初予算	平成21年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比		
					平成22年度	平成21年度	
歳 出 規 模	1,126,500	1,131,800	△ 5,300	△ 0.5	100.0	100.0	
一 般 財 源 等	県税	370,000	459,000	△ 89,000	△ 19.4	32.9	40.6
	地方消費税清算金	71,858	79,330	△ 7,472	△ 9.4	6.4	7.0
	地方譲与税	42,200	27,600	14,600	52.9	3.8	2.4
	地方特例交付金	4,896	5,500	△ 604	△ 11.0	0.4	0.5
	地方交付税	155,500	144,000	11,500	8.0	13.8	12.7
	臨時財政対策債	151,000	80,700	70,300	87.1	13.4	7.1
	その他	35,488	39,033	△ 3,545	△ 9.1	3.1	3.5
	計	830,942	835,163	△ 4,221	△ 0.5	73.8	73.8
特 定 財 源	国庫支出金	124,074	118,199	5,875	5.0	11.0	10.5
	県債	64,340	77,700	△ 13,360	△ 17.2	5.7	6.9
	繰入金	68,005	53,524	14,481	27.1	6.0	4.7
	その他	39,139	47,214	△ 8,075	△ 17.1	3.5	4.1
	計	295,558	296,637	△ 1,079	△ 0.4	26.2	26.2

一般会計 歳入決算の推移

(単位:億円・%)

区分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
県税	5,060	4,733	4,492	4,804	4,676	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	3,700
構成比	38.5	32.8	32.0	35.0	33.9	34.1	35.9	37.5	40.3	43.0	49.6	47.3	34.4	32.9
地方交付税	1,270	1,311	1,970	2,141	2,070	2,050	1,918	1,652	1,691	1,442	1,280	1,161	1,484	1,555
構成比	9.7	9.1	14.0	15.6	15.0	16.7	16.2	14.1	14.9	12.7	11.2	10.1	12.2	13.8
国庫支出金	2,136	2,429	2,333	2,225	2,311	2,061	1,901	1,805	1,543	1,274	1,177	1,301	2,020	1,241
構成比	16.2	16.8	16.6	16.2	16.8	16.8	16.0	15.5	13.6	11.2	10.3	11.4	16.6	11.0
県債	2,192	2,793	2,209	1,804	2,102	1,941	1,862	1,676	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,153
通常債	2,192	2,793	2,209	1,804	1,930	1,524	1,125	1,150	945	890	1,096	1,437	1,506	618
特例債	—	—	—	—	172	417	737	526	403	364	329	400	809	1,510
病院債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	25
構成比	16.7	19.3	15.7	13.2	15.2	15.9	15.7	14.4	11.9	11.1	12.5	16.1	19.3	19.1
その他	2,493	3,182	3,057	2,740	2,637	2,008	1,921	2,162	2,179	2,490	1,877	1,724	2,124	2,616
構成比	18.9	22.0	21.7	20.0	19.1	16.5	16.2	18.5	19.3	22.0	16.4	15.1	17.5	23.2
計	13,151	14,448	14,061	13,714	13,796	12,236	11,856	11,672	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,265

※平成22年度は当初予算

※県債のうち「特例債」は、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金及び独法化後の病院債

一般会計 歳入(県税)決算の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
個人県民税	890	722	746	722	715	699	673	677	724	812	1,460	1,510	1,492	1,322
構成比	17.6	15.2	16.6	15.0	15.3	16.7	15.8	15.5	15.9	16.6	25.8	27.9	35.7	35.7
法人二税	2,095	1,655	1,485	1,617	1,541	1,343	1,534	1,620	1,818	2,046	2,184	1,988	885	627
構成比	41.4	35.0	33.1	33.7	33.0	32.2	36.1	37.0	39.8	41.9	38.5	36.7	21.2	16.9
その他	2,075	2,356	2,261	2,465	2,420	2,134	2,047	2,080	2,023	2,024	2,025	1,914	1,801	1,751
構成比	41.0	49.8	50.3	51.3	51.7	51.1	48.1	47.5	44.3	41.5	35.7	35.4	43.1	47.4
計	5,060	4,733	4,492	4,804	4,676	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	3,700

※平成22年度は当初予算

平成21年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成21年度 決算	平成20年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成21年度	平成20年度
歳 出 決 算 額		1,204,018	1,134,007	70,011	6.2	100.0	100.0
義 務 的 経 費	人件費	376,461	386,289	△ 9,828	△ 2.5	31.3	34.0
	扶助費	72,413	68,644	3,769	5.5	6.0	6.1
	公債費	167,755	160,816	6,939	4.3	13.9	14.2
	災害復旧費	1,086	3,393	△ 2,307	△ 68.0	0.1	0.3
	計	617,715	619,142	△ 1,427	△ 0.2	51.3	54.6
義 務 的 経 費 以 外	投資的経費	192,090	202,467	△ 10,377	△ 5.1	16.0	17.9
	公共・直轄	89,234	89,678	△ 444	△ 0.5	7.4	7.9
	単 独	102,856	112,789	△ 9,933	△ 8.8	8.6	10.0
	その他の経費	394,213	312,398	81,815	26.2	32.7	27.5
	計	586,303	514,865	71,438	13.9	48.7	45.4

平成21年度一般会計 歳出(款別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成21年度 決算	平成20年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成21年度	平成20年度
議会費	1,971	2,040	△ 69	△ 3.4	0.2	0.2
総務費	49,575	54,893	△ 5,318	△ 9.7	4.1	4.8
企画費	19,314	24,669	△ 5,355	△ 21.7	1.6	2.2
県民費	13,863	12,577	1,286	10.2	1.2	1.1
厚生費	209,536	154,996	54,540	35.2	17.4	13.7
産業費	57,082	43,230	13,852	32.0	4.8	3.8
建設費	164,666	169,830	△ 5,164	△ 3.0	13.7	15.0
警察費	81,054	82,170	△ 1,116	△ 1.4	6.7	7.2
教育費	306,275	308,649	△ 2,374	△ 0.8	25.4	27.2
災害対策費	1,245	3,528	△ 2,283	△ 64.7	0.1	0.3
公債費	167,755	160,816	6,939	4.3	13.9	14.2
諸支出金	131,682	116,609	15,073	12.9	10.9	10.3
計	1,204,018	1,134,007	70,011	6.2	100.0	100.0

平成22年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成22年度 当初予算	平成21年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成22年度	平成21年度
歳 出 総 額		1,126,500	1,131,800	△ 5,300	△ 0.5	100.0	100.0
義 務 的 経 費	人件費	380,500	390,400	△ 9,900	△ 2.5	33.8	34.5
	扶助費	75,283	70,967	4,316	6.1	6.7	6.3
	公債費	172,969	168,530	4,439	2.6	15.4	14.9
	災害復旧費	8,670	8,171	499	6.1	0.8	0.7
	計	637,422	638,068	△ 646	△ 0.1	56.7	56.4
税収関連法定経費		109,743	121,318	△ 11,575	△ 9.5	9.7	10.7
義 務 的 法 定 経 費 ・ 税 収 関 連	投資的経費	170,812	186,060	△ 15,248	△ 8.2	15.1	16.4
	うち 公共・直轄	91,660	80,237	11,423	14.2	8.1	7.1
	うち 単独	74,616	101,180	△ 26,564	△ 26.3	6.6	8.9
	その他の経費	208,523	186,354	22,169	11.9	18.5	16.5
	計	379,335	372,414	6,921	1.9	33.6	32.9

平成22年度一般会計 歳出(款別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成22年度 当初予算	平成21年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成22年度	平成21年度
議会費	2,053	2,096	△ 43	△ 2.1	0.2	0.2
経営管理費	36,214	-	36,214	皆増	3.2	-
企画広報費	7,411	-	7,411	皆増	0.7	-
くらし・環境費	7,989	-	7,989	皆増	0.7	-
文化・観光費	8,009	-	8,009	皆増	0.7	-
健康福祉費	185,041	-	185,041	皆増	16.4	-
経済産業費	47,390	-	47,390	皆増	4.2	-
交通基盤費	145,125	-	145,125	皆増	12.9	-
危機管理費	4,511	-	4,511	皆増	0.4	-
警察費	80,247	83,295	△ 3,048	△ 3.7	7.1	7.4
教育費	307,824	314,500	△ 6,676	△ 2.1	27.3	27.8
災害対策費	8,558	8,347	211	2.5	0.8	0.7
公債費	172,969	168,530	4,439	2.6	15.4	14.9
諸支出金	112,859	121,015	△ 8,156	△ 6.7	10.0	10.7
予備費	300	300	0	0.0	0.0	0.0
総務費	-	47,825	△ 47,825	皆減	-	4.2
企画費	-	12,778	△ 12,778	皆減	-	1.1
県民費	-	13,207	△ 13,207	皆減	-	1.2
厚生費	-	161,302	△ 161,302	皆減	-	14.3
産業費	-	38,921	△ 38,921	皆減	-	3.4
建設費	-	159,684	△ 159,684	皆減	-	14.1
計	1,126,500	1,131,800	△ 5,300	△ 0.5	100.0	100.0

一般会計 歳出決算の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
義務的経費	5,839	6,010	6,193	6,492	6,558	6,420	6,258	6,293	6,205	6,165	6,216	6,191	6,177	6,375
構成比	44.9	42.0	44.4	47.9	48.1	53.0	53.5	54.5	55.3	54.9	54.9	54.6	51.3	56.7
人件費	4,076	4,078	4,100	4,045	4,099	4,042	3,903	3,900	3,907	3,923	3,932	3,863	3,765	3,805
構成比	31.4	28.5	29.4	29.9	30.1	33.4	33.4	33.8	34.9	34.9	34.8	34.0	31.3	33.8
扶助費	391	412	439	546	591	609	537	568	564	626	659	686	724	753
構成比	3.0	2.9	3.2	4.0	4.3	5.0	4.6	4.9	5.0	5.6	5.8	6.1	6.0	6.7
公債費	1,304	1,393	1,551	1,846	1,792	1,684	1,727	1,735	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678	1,730
構成比	10.0	9.7	11.1	13.6	13.1	13.9	14.7	15.0	14.7	14.1	14.0	14.2	13.9	15.4
災害復旧費	68	127	103	55	76	85	91	90	83	37	37	34	10	87
構成比	0.5	0.9	0.7	0.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7	0.3	0.3	0.3	0.1	0.8
投資的経費	4,461	4,883	4,350	3,873	3,694	3,146	2,771	2,577	2,278	2,186	2,106	2,025	1,921	1,663
構成比	34.4	34.1	31.2	28.6	27.1	26.0	23.7	22.3	20.3	19.5	18.6	17.9	16.0	14.7
公共・直轄	1,894	2,294	2,185	1,994	1,909	1,748	1,495	1,373	1,195	1,114	1,006	897	892	917
構成比	14.6	16.0	15.7	14.7	14.0	14.5	12.8	11.9	10.7	9.9	8.9	7.9	7.4	8.1
単独	2,567	2,589	2,165	1,879	1,785	1,398	1,276	1,204	1,083	1,072	1,100	1,128	1,029	746
構成比	19.8	18.1	15.5	13.9	13.1	11.5	10.9	10.4	9.6	9.6	9.7	10.0	8.6	6.6
その他	2,686	3,413	3,381	3,176	3,376	2,543	2,664	2,683	2,729	2,870	3,002	3,124	3,942	3,227
構成比	20.7	23.9	24.4	23.5	24.8	21.0	22.8	23.2	24.4	25.6	26.5	27.5	32.7	28.6
計	12,986	14,306	13,924	13,541	13,628	12,109	11,693	11,553	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040	11,265
形式収支 (歳入－歳出)	166	143	137	174	168	127	163	119	114	121	104	95	106	
実質収支	40	41	41	49	58	53	60	62	57	59	61	57	57	

※平成22年度は当初予算

※各年度の決算は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越を含まない

※実質収支は、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額

(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
義務的経費	5,860	6,069	6,181	6,527	6,594	6,446	6,275	6,338	6,202	6,169	6,259	6,194	6,205	6,375
構成比	45.3	41.4	44.1	48.2	48.3	53.5	53.7	54.5	55.1	54.6	54.9	54.1	50.3	56.7
人件費	4,085	4,103	4,121	4,063	4,115	4,060	3,914	3,908	3,914	3,936	3,951	3,881	3,778	3,805
構成比	31.6	28.0	29.4	30.0	30.1	33.7	33.5	33.6	34.8	34.8	34.7	33.9	30.7	33.8
扶助費	399	415	445	556	596	613	541	573	570	637	664	689	730	753
構成比	3.1	2.8	3.2	4.1	4.4	5.1	4.6	4.9	5.0	5.7	5.8	6.0	5.9	6.7
公債費	1,304	1,393	1,551	1,846	1,792	1,692	1,732	1,744	1,654	1,581	1,588	1,609	1,680	1,730
構成比	10.1	9.5	11.1	13.6	13.1	14.0	14.8	15.0	14.7	14.0	13.9	14.1	13.6	15.4
災害復旧費	72	158	64	62	91	81	88	113	64	15	56	15	17	87
構成比	0.5	1.1	0.4	0.5	0.7	0.7	0.8	1.0	0.6	0.1	0.5	0.1	0.1	0.8
税収関連法定経費	536	1,218	1,138	1,251	1,244	994	1,036	1,147	1,129	1,174	1,272	1,186	1,166	1,097
構成比	4.1	8.3	8.1	9.2	9.1	8.2	8.9	9.9	10.0	10.4	11.1	10.4	9.5	9.7
投資的経費	4,323	5,055	4,398	3,769	3,646	3,008	2,682	2,535	2,273	2,207	2,098	2,045	2,036	1,663
構成比	33.4	34.5	31.4	27.8	26.6	25.0	23.0	21.8	20.2	19.5	18.4	17.9	16.5	14.7
公共・直轄	1,837	2,469	2,215	1,964	1,867	1,684	1,419	1,336	1,197	1,122	992	907	987	917
構成比	14.2	16.9	15.8	14.5	13.6	14.0	12.2	11.5	10.6	9.9	8.7	7.9	8.0	8.1
単独	2,486	2,586	2,183	1,805	1,779	1,324	1,263	1,199	1,076	1,085	1,106	1,138	1,049	746
構成比	19.2	17.6	15.6	13.3	13.0	11.0	10.8	10.3	9.6	9.6	9.7	10.0	8.5	6.6
その他	2,212	2,302	2,300	1,981	2,188	1,598	1,684	1,601	1,652	1,751	1,781	2,017	2,915	2,130
構成比	17.2	15.8	16.4	14.8	16.0	13.3	14.4	13.8	14.7	15.5	15.6	17.6	23.7	18.9
計	12,931	14,644	14,017	13,528	13,672	12,046	11,677	11,621	11,256	11,301	11,410	11,442	12,322	11,265

※平成22年度は当初予算

平成21年度 特別会計決算の状況

(単位:百万円)

区 分	会計の概要	歳入	歳出	差引	差引の理由
公債管理	県債の償還金・利子の支払、県債管理基金への積立	411,620	411,620	0	—
自動車税等証紙徴収事務	自動車税及び自動車取得税の証紙徴収分の一般会計への振替	9,924	9,924	0	—
市町振興助成事業	市町に対する公共施設の整備に必要な資金の貸付	5,843	5,821	22	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
県営林事業	県営林の管理、運営	204	204	0	—
林業改善資金	林業及び木材産業の生産の高度化等を図るための資金の貸付	444	210	234	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
母子寡婦福祉資金	母子家庭等を対象とした生活資金、修学資金の貸付	572	564	8	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
心身障害者扶養共済事業	心身障害者への年金の支給	688	687	1	年金受給者数が見込を下回ったことによる。
中小企業振興資金	中小企業経営の創業や経営基盤強化を支援するための資金の貸付	6,844	4,979	1,865	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
農業改良資金	農業経営の改良を図るための技術導入資金などの貸付	517	345	172	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
沿岸漁業改善資金	沿岸漁業の振興を図るための資金の貸付	200	52	148	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
清水港等港湾整備事業	清水港などの荷役機械・上屋の整備、維持管理	7,313	7,150	163	清水港港湾管理費等における執行残及び翌年度繰越による。
流域下水道事業	流域下水道の整備、維持管理	15,331	14,978	353	西遠、静清等の流域下水道における翌年度繰越による。
県営住宅事業	県営住宅の管理、修繕等	10,594	9,911	683	県営住宅の建替・修繕工事等における執行残及び翌年度繰越による。
物品調達事務等	本庁、出先における物品調達事務等	1,914	1,914	0	—
計		472,008	468,359	3,649	

平成21年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)

(単位:百万円)

区 分	事業概要	収益的収支(損益勘定)			内部留保資金
		収入	支出	収支差引	
静岡がんセンター事業	本県がん対策の中枢を担う高度がん専門医療機関として病院、疾病管理センター、研究所を運営	23,664	23,267	397	9,347
工業用水道事業	県下10市町の386事業所に工業用水を供給するため、柿田川、富士川、東駿河湾、静岡、中遠、西遠、湖西の7事業を実施	5,134	4,681	453	5,488
水道事業	県下10市町に長期的に安定した良質の生活用水を供給するため、駿豆・榛南・遠州の3事業を実施	6,007	5,222	785	5,185
地域振興整備事業	工場の再編整備、集団化や優良企業の誘致など地域発展のための工業用地の造成事業を市町の土地利用計画と整合を図りながら実施	2,538	3,994	△ 1,456	3,383
計		37,343	37,164	179	23,403

平成21年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)

(単位:百万円)

区 分	事業の概要	資本的収支(資本勘定)				収支差引
		収入	企業債	支出	企業債償還金	
静岡がんセンター事業	管理棟建設、器械備品購入ほか	4,683	4,410	6,875	1,901	△ 2,192
工業用水道事業	工業用水の供給を確保するため、県下7工業用水道で必要な施設整備を実施(東駿河湾、中遠、富士川等)	1,456	202	2,482	909	△ 1,026
水道事業	県下3広域水道で必要な施設整備を実施(遠州水道、駿豆水道、榛南水道)	2,661	529	3,767	1,148	△ 1,106
地域振興整備事業	オーダーメイド方式による工業用地の造成(新富士裾野、湖西・西笠子、牧之原中里、浜松都田工業団地)	4,758	0	3,109	0	1,649
計		13,558	5,141	16,233	3,958	△ 2,675

地方公社の改革計画への取組

団体名	外郭団体改革計画(平成14年3月策定)		集中改革プラン (平成18年3月策定)	
	概要	成果		
静岡県地域整備センター	静岡県土地開発公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に即した効率的な執行体制の整備を行う。 ◎ 長期保有用地の早期処理を行う。 ◎ 新たに長期(5年以上)保有地は生じさせない。 ◎ 統合について検討し、平成14年中に方向付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模縮小による執行体制の縮小 13年度から22年度で44人減(57人→13人) ◎ 10年以上保有地 12年度末1.9ha→21年度末 なし ◎ 処分見込みのない新たな取得なし ◎ 15年度から「静岡県地域整備センター」として3公社統合 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 県と公社の役割の明確化 ◎ 事業規模に見合った組織体制の検討
	静岡県道路公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 長期収支計画に即した「職員採用計画」に基づき、平成9年度から平成22年度までに53人(約44%)の人員削減を行う。 (9年度:120人→13年度:99人→22年度:67人) ◎ 新規有料道路事業については、採算が取れるものに限定する。新規計画については、第三者機関による採算性の検証を行う。 ◎ 統合について検討し、平成14年中に方向付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 13年度から22年度で53人減(94人→41人) ◎ 新規有料道路事業計画なし ◎ 15年度から「静岡県地域整備センター」として3公社統合 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った組織体制 ◎ 業務の効率的執行
	静岡県住宅供給公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に即した組織のスリム化に取り組む。 ◎ 新規の住宅供給業務の廃止を行う。 ◎ 抜本的な経営改善に取り組む。(業務と組織のスリム化) ◎ 債権管理の徹底を行う。(不良債権化の防止、債権の早期回収、売れ残り資産等の早期売却) ◎ 統合について検討し、平成14年中に方向付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 13年度から22年度で17人減(43人→26人) ◎ 14年度から廃止 ◎ 重点課題毎のプロジェクトチームを設置し、経営改善(三公社の統合に併せて組織のスリム化を実施) ◎ 債権管理の徹底 ◎ 15年度から「静岡県地域整備センター」として3公社統合 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 業務の効率的執行 ◎ 経営改善の推進

地方公社の決算状況

(単位:百万円)

区 分		静岡県土地開発公社		静岡県道路公社		静岡県住宅供給公社		
		平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	
出資状況	出資団体数	1	1	16	16	4	4	
	出資金額	本県出資額	20	20	7,523	7,523	10	10
		その他団体出資額	-	-	1,897	1,897	5	5
	計	20	20	9,420	9,420	15	15	
貸借対照表	資産	流動資産	8,735	11,137	3,382	3,645	1,781	1,721
		固定資産	2,313	2,056	35,261	35,183	20,897	18,076
		小計	11,048	13,193	38,643	38,828	22,678	19,797
	負債	流動負債	2,771	969	173	208	2,865	2,540
		固定負債	6,116	10,053	7,397	6,192	19,498	16,911
		特別法上の引当金等	-	-	15,087	16,393	-	-
		小計	8,887	11,022	22,657	22,793	22,363	19,451
	資本	資本金	20	20	9,420	9,420	15	15
		剰余金	-	-	6,566	6,615	-	-
		法定準備金等	2,141	2,151	-	-	300	331
		小計	2,161	2,171	15,986	16,035	315	346
		計	11,048	13,193	38,643	38,828	22,678	19,797
	損益計算書	経常損益	営業収益 (a)	9,032	3,420	2,422	2,273	3,719
営業費用 (b)			9,108	3,462	2,582	2,652	3,630	3,271
営業利益 (c=a-b)			△ 76	△ 42	△ 160	△ 379	89	101
営業外収益 (d)			106	56	396	511	13	11
営業外費用 (e)			-	5	111	83	81	97
経常利益 (f=c+d-e)			30	9	125	49	21	15
特別利益 (g)		33	8	-	-	52	70	
特別損失 (h)		-	-	-	-	124	54	
	当期損益 (i=f+g-h)	63	17	125	49	△ 51	31	

静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況

平成22年3月末現在

(単位: %、百万円)

○全団体の状況

形態	所管	出資割合が50%以上				出資割合が25%以上50%未満			
		出資法人	出資金額 及び出資割合	平成21年度 経常収支	資本又は 正味財産	出資法人	出資金額(百万円) 及び出資割合	平成21年度 経常利益	資本又は 正味財産
財団・ 社団 法人	知事部局	(財) しずおか産業創造機構	7,257 (100.0)	△ 111.4	8,584	(社) 静岡県農業振興基金協会	2,000 (49.9)	△ 9.2	2,062
		(財) 静岡県労働福祉事業協会	2,193 (100.0)	△ 61.8	2,264	(財) 静岡県漁業振興基金	1,575 (48.0)	△ 22.5	3,399
		(財) 静岡県舞台芸術センター	1,700 (100.0)	△ 36.7	1,812	(社) 静岡県畜産協会	245 (34.2)	△ 143.1	813
		(財) 静岡総合研究機構	1,050 (95.4)	△ 7.0	1,224	(財) 静岡県腎臓バンク	150 (48.7)	△ 0.1	328
		(財) 浜松地域テクノポリス推進機構	1,023(56.7)	95.2	2,251	(社) 静岡県緑化推進協会	50 (49.1)	0.2	109
		(財) 静岡県文化財団	900 (89.8)	△ 4.0	1,236	(財) 静岡県コンテナ輸送振興協会	35 (33.4)	0.7	110
		(財) 静岡県国際交流協会	797 (86.9)	△ 2.1	929	(社) 静岡県果実生産出荷安定基金協会	26 (25.0)	4.3	306
		(財) 世界緑茶協会	393 (100.0)	1.8	396	(財) 静岡県生活衛生営業指導センター	3 (45.5)	△ 1.3	153
		(財) しずおか健康長寿財団	245 (77.0)	19.3	375	(財) 静岡県産業ビル	1 (33.3)	16.3	325
		(財) 静岡県障害者スポーツ協会	76 (75.4)	0.1	106				
		(社) 静岡県農業振興公社	50 (50.0)	△ 60.9	427				
		(財) 静岡県下水道公社	8 (50.0)	△ 0.3	24				
		公安委員会	(財) 静岡県暴力追放運動推進センター	660 (81.0)	11.7	859			
	教育委員会	(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所	10 (100.0)	8.7	30	(財) 静岡県青少年会館	100 (40.0)	△ 2.7	252
地方公社	静岡県道路公社	7,523 (79.9)	48.7	16,035					
	静岡県土地開発公社	20 (100.0)	8.6	2,171					
	静岡県住宅供給公社	10 (66.7)	15.2	346					
会社法法人					天竜浜名湖鉄道(株)	250 (39.7)	△ 242.1	140	
					(株)エイ・ピー・アイ	20 (39.0)	12.7	139	

<参考>

地方独立 行政法人	静岡県公立大学法人	22,361 (100.0)	141.1	20,769
	静岡県立病院機構	6,823 (100.0)	405.7	7,003

静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況

○平成21年度経常収支赤字法人

(単位:千円)

形態	出資法人	事業概要	H21経常収支	H21赤字の理由	今後収支改善の見通し
財団・ 社団法人	(財) しずおか産業創造機構	・中小企業の経営革新及び創業の促進、経営基盤強化、科学技術の研究開発の推進	△ 111,357	中小企業の経営環境が悪化したことを受け、スタートアップ資本整備事業における出資金の減損処理を行ったことなどによる。	今回の赤字は、著しい経済の悪化による減損処理等によるものだが、引き続き、積極的な外部資金導入による収入確保及び効率的な事業執行による支出削減など収益の改善に努め、法人全体として経営基盤の強化を図る。
	(財) 静岡県労働福祉事業協会	・勤労者福祉施設の管理運営	△ 61,824	「富士ハイツ」の閉館及び「おおとり荘」の宿泊者数の減による	「おおとり荘」について、平成20年度から専門のアドバイザーに委嘱して経営改善に取り組んでおり、引き続き経費の縮減及び積極的な誘客を図り、収支改善に努める。
	(財) 静岡県舞台芸術センター	・舞台芸術作品の創造・公演 ・舞台芸術普及・人材育成、舞台芸術活動支援 ・文化施設(舞台芸術公園)の管理	△ 36,703	「人材育成事業」の拡充(県内中高生をSPAC公演に無料招待する、中高生舞台芸術鑑賞事業等)による事業費の増による。	県内公演数の増・人材育成事業の拡充により、認知度を高め1公演あたりの観客数を増やして入場料収入の増加を図るとともに、国等の各種助成制度を積極的に活用する等、収支の改善に努める。
	(財) 静岡県総合研究機構	・地域社会、産業経済に関する調査研究等	△ 6,991	調査研究受託収入の減による。	財団の使命に合う調査研究事業の受託を確保するなど、効果的・効率的な事業執行に努める。
	(財) 静岡県文化財団	・文化情報の提供及び文化意識の啓発 ・地域文化の振興及び文化鑑賞機会の提供 ・文化ホール(グランシップ)の管理	△ 3,957	グランシップ10周年記念事業の実施によるグランシップ自主事業費の増。	貸館事業収益の増加及び管理運営事業費の節減等を図り、収支改善に努める。
	(財) 静岡県国際交流協会	・国際交流、国際協力の推進	△ 2,145	基本財産利息収入の減による。	平成21年度決算においても、実施事業や執行経費の精査等により、ほぼ均衡予算を確保したところである。今後も、国・県等からの委託事業の積極的な受託と、経常経費の削減努力の継続により、収支均衡予算の継続に努める
	(社) 静岡県農業振興公社	・農地保有合理化事業 ・青年農業者等育成事業	△ 60,878	長期保有地の時価売却により生じた差損による。	長期保有地は平成21年度に大部分を売却した。また、差損は剰余金で対応できる範囲であり、債務超過になることはない。今後の農地の買入にあたっては、事前に売渡相手を確保し保有の長期化リスクの低減に努める。
	(財) 静岡県下水道公社	・下水道知識の普及啓発 ・下水道技術者を対象とした研修の開催 ・下水道技術の調査研究 ・下水道の維持管理業務の受託	△ 295	利率低下に伴う受取利息収入の減による。	自主事業を受取利息収入のみにより賄っているが、収入の減少に伴う自主事業の急激な縮小を避けるため、剰余金を利用している。今後も、低利率が長期に続くようであれば、収入に見合った事業規模に縮小して健全な経営状況を維持していく。

静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況

○平成21年度経常収支赤字法人

(単位:千円)

形態	出資法人	事業概要	H21経常収支	H21赤字の理由	今後収支改善の見通し
財団・ 社団法人	(社) 静岡県農業振興基金協会	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の経営改善及び新技術の導入開発に関する支援 ・農業・農村の担い手の育成・確保に関する支援 	△ 9,210	低金利による運用財産の利子収入の減少。	基金財産の効果的な運用及び中期的な視点での収益見込による適正な事業実施に努める。
	(財) 静岡県漁業振興基金	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業振興及び栽培漁業推進 	△ 22,519	漁業振興公害対策事業助成の増加や、栽培漁業推進事業で使用する資機材を購入したため。	支出の増加により平成21年度決算では支出が収入を上回ったが、平成22年度には平年並みの収支状況になる見通しである。
	(社) 静岡県畜産協会	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜衛生、乳質改善 ・農家経営指導 ・肉用子牛及び肉用牛価格安定制度、肉豚価格安定制度 	△ 143,058	基金繰入(酪農ヘルパ°円滑対策事業)を負債計上するよう経理処理を見直したため。	基金繰入の経常費用への計上は今回限りであり、帳簿上の収支は改善される見込み。
	(財) 静岡県腎臓バンク	<ul style="list-style-type: none"> ・腎臓移植の普及啓発 ・腎臓に関する知識の啓発 	△ 111	受取寄付金収入の減による。	平成22年4月1日に公益財団法人に移行したことにより、寄付者にとって税制の優遇措置があることを案内し、寄付の増に努める。
	(財) 静岡県生活衛生営業指導センター	<ul style="list-style-type: none"> ・生活衛生関係業者に対する指導 	△ 1,276	手数料収入の減による。	標準営業約款の登録促進に努め収益の増を図るとともに、経費の削減に努める。
	(財) 静岡県青少年会館	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年会館の管理運営 ・青少年団体の育成推進 ・青少年の健全育成 	△ 2,681	耐震補強工事の実施に伴い会議室等の貸付業務を休止したことによる事業収入の減少。	工事が完了し会議室貸付業務を再開した際には、収支は改善する見通しである。
会社法人	天竜浜名湖鉄道(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・地方鉄道線(天竜浜名湖線)の経営 	△ 242,053	輸送人員の減による。	新経営計画(21年度~25年度)に基づき、利用促進事業により輸送人員・運輸収入の増加を図るとともに、社内での経費節減に取り組み、また予算管理の徹底により常に収支状況を把握しながら事業を実施して、経営改善に努める。

財政の中期見通しと健全化への取組

1 財政の中期見通し

平成22年度当初予算策定時

(1) 試算の前提

- ① 内閣府試算(平成21年6月「中長期の道ゆきを考えるための機械的試算」)に用いられた経済想定のうち、「世界経済順調回復シナリオ」「世界経済底ばい継続シナリオ」の2ケースとする。

(名目経済成長率)

(単位:%)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度
世界経済順調回復シナリオ	1.5	1.8	2.1	2.3
世界経済底ばい継続シナリオ	△ 3.1	△ 2.6	△ 2.0	△ 1.5

- ② 地方財政は、国の税財政制度に大きく影響されるが、近年、一般財源総額(地方税、地方交付税、臨時財政対策債等の合計額)が概ね同規模に固定されていることを踏まえ、一般財源総額を22年度同額で固定するとともに、23年度以降も臨時財政対策債による補てんが継続することを想定して試算

(2) 試算結果

平成22年度当初予算策定時

- 実質公債費比率、将来負担比率については、財政健全化法における健全段階を維持
- 県独自の健全化目標のうち、
 - ・ 県債残高は目標の範囲内で推移する見込みであるが、仮に毎年度の財源不足を全額県債で補てんする場合は2兆円に近づき、予断を許さない状況
 - ・ 経常収支比率は、他団体に比べて、相対的に低い水準であったが、義務的経費の増加に伴い、更なる上昇はまぬがれない状況
- いずれのケースにおいても、義務的経費の増加等により、毎年度400～700億円台の巨額の財源不足が生じる見込み

<参考：県独自の健全化の目標>

区 分	指標(⑳決算)	全国順位	国基準
① 経常収支比率を90%以下へ	92.5%	7	—
② 実質公債費比率を18%未満に抑制	11.7%	10	18.0%
③ 県債残高2兆円程度を上限	19,272億円	—	—
④ 将来負担比率を400%未満に抑制	248.1%	28	400.0%

財政の中期見通しと健全化への取組

平成22年度当初予算策定時

<試算結果>

(単位: 億円)

区分	項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
世界経済 回復シナリオ	経常収支比率	94.7%	94.6%	94.4%	95.5%	96.1%
	実質公債費比率	14.2%	15.1%	15.0%	15.0%	15.0%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	19,273	18,755	18,239	17,707	17,133
	減収補てん債(特例分) <small>注2</small>	955	955	941	909	877
	県債残高(全体) <small>注3</small>	24,856	25,681	26,323	26,862	27,231
	将来負担比率	282.5%	289.2%	293.9%	302.7%	311.0%
	財源不足額	△ 386	△ 447	△ 470	△ 566	△ 575
世界経済 継続シナリオ	経常収支比率	94.7%	95.4%	96.0%	97.8%	99.0%
	実質公債費比率	14.2%	15.1%	15.2%	15.5%	15.9%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	19,273	18,755	18,239	17,707	17,133
	減収補てん債(特例分) <small>注2</small>	955	955	941	909	877
	県債残高(全体) <small>注3</small>	24,856	25,818	26,737	27,678	28,564
	将来負担比率	282.5%	291.8%	299.1%	310.2%	320.4%
	財源不足額	△ 386	△ 536	△ 614	△ 729	△ 781

<参考> 仮に財源不足額を全て県債で補てんする場合(機械的試算)

県債残高(通常債)	19,273	19,291	19,389	19,586	19,793
-----------	--------	--------	--------	--------	--------

※ 財源不足がこの傾向で推移した場合には、平成27年度には県債残高が2兆円を上回る懸念
また、更に経済成長率が落ち込んだ場合は、前倒しで2兆円を上回る懸念

- (注) 1 臨時財政対策債は「実質的な地方交付税」とされているため、通常債から除外
病院債は、県立病院の独立行政法人化に伴う県債であり、償還財源の全てが病院事業により措置されるため、通常債から除外
2 減収補てん債は、当該年度の税収減を地方交付税により補てんする代わりに発行する特別な県債であり、臨時財政対策債と類似の性質の県債である。
3 県債残高(全体)は、通常債、臨時財政対策債、病院債の合計

財政の中期見通しと健全化への取組

2 健全化への取組

平成22年度当初予算策定時

(1) 財源の捻出に向けた取組

歳入の確保努力 A	35億円
市町との協働による税收確保	5億円
核燃料税の確保	11億円
未利用財産の売却、有料広告の導入	19億円
歳出のスリム化 B	152億円
事業仕分けによる見直し（廃止又は改善）	31億円
事務事業の徹底した見直し（契約方法の見直し、民間委託等の活用ほか）	31億円
一般行政部門のスリム化（知事部局職員66人削減）	6億円
職員給与の見直し（地域手当4→3%ほか）	47億円
他会計、出資法人等への歳出見直し（繰出金、補助金等の見直し）	30億円
予算節減努力評価制度による取組、県債発行条件の見直しほか	7億円
計 A+B	187億円

財政の中期見通しと健全化への取組

平成22年度当初予算策定時

(2) 基金活用可能額の推移

- 歳出のスリム化及び歳入確保等を徹底し、予算編成の過程で187億円の財源を捻出
- 23年度以降に備え、基金活用可能額は平成21年度当初予算時と同規模を確保

基金活用可能額の確保

(単位:億円)

区 分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
当初予算活用可能額A	902	632	702	609	686	554	557	579	503	575	433
当初予算活用額(財源不足額)B	590	482	531	489	569	499	341	328	336	527	386
当初予算編成後C=A-B	312	150	171	120	117	55	216	251	167	48	47
前年度決算後D	372	230	231	155	155	137	250	296	183	78	—
翌年度活用可能額E	616	698	602	674	543	546	554	480	570	433	—

(注) 当初予算活用可能額Aは、前年度の翌年度活用可能額Eに利子等を加算

財政の中期見通しと健全化への取組

3 今後の展望と課題

平成22年度当初予算策定時

(1) 財政健全化計画策定後10年間の環境変化

- 平成12年度の財政健全化計画策定以降、職員定数の削減による人件費の抑制、投資的経費の圧縮等を行い、健全財政の枠組みの堅持に努めてきた。
- しかしながら、三位一体の改革(平成16～18年度)以降、一般財源総額がほぼ同規模に固定される中で、社会保障関係費等の義務的経費が増加しているため、不断の行革努力にもかかわらず、政策的経費に使える一般財源は大幅に減少している。

1 人件費の抑制(一般行政、定数削減分)

(単位:人)

年 度		10～14年度	15～17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
計 画	累 計	△500	△250	5年間で△500				
	単年度	-	-	△84	△158	△116	△99	△69
実 績	累 計	△509	△287	△84	△242	△358	△457	△526

2 投資的経費の圧縮(最終予算)

(単位:億円)

年 度	10年度	15年度	16年度	17年度
予算額	5,055	2,682	2,535	2,273
年 度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算額	2,207	2,098	2,045	2,035

3 政策的経費に使える一般財源の推移(最終予算)

(単位:億円)

年 度	15年度	16年度	19年度	20年度	21年度
一般財源総額 A	7,374	7,167	7,749	7,730	7,639
従来分	7,341	7,031	7,142	7,046	6,962
税源移譲分	33	136	607	684	677

歳出充当一般財源 B	5,814	6,016	6,613	6,558	6,694
人件費	3,047	3,103	3,301	3,233	3,147
公債費	1,638	1,654	1,543	1,563	1,609
社会保障関係経費	492	537	904	948	1,008
税関関連法定経費	637	722	865	814	930

政策的経費に使える一般財源 A-B	1,560	1,151	1,136	1,172	945
平成15年度を100とした場合	100.0	73.8	72.8	75.1	60.6
平成15年度との差額	-	△409	△424	△388	△615

(注)公債費には県債管理基金からの繰入金を含む

(2) 静岡県財政の展望と課題

- 22年度当初予算においては、景気の悪化により、税収が大幅に減少する中で、社会保障関係費や公債費等の義務的経費が増加することから、386億円もの巨額の財源不足が生じている。
- 地方公共団体の財政運営は、国の地方財政制度に大きく依存しており、国・地方を通じる未曾有の財源不足の中で、地方交付税等の一般財源が同規模で据え置かれる前提では、社会保障関係費や公債費等の義務的経費が増加することから、財源不足額は386億円から、平成26年度には570～780億円程度まで拡大する厳しい状況が見込まれる。
- 基金活用可能額を大幅に上回る財源不足が継続的に見込まれる中で、医療、福祉、教育、安心・安全など県民に身近で必要不可欠な行政サービス水準を維持できる安定的な一般財源総額の確保が不可欠である。
- このため、県自らの取組として、巨額の財源不足の解消に向けて、集中改革プラン（18～21年度）に代わる「新たな行財政改革プラン」を策定し、計画的かつ確実に実行することが必要である。
- 一方、こうした財源不足の根本的な原因は、行政サービスと税財源の不均衡であり、国と地方を通じた構造的な問題である。
- この問題を地方独自の歳入確保や行革努力のみで打開することは困難であることから、国、地方を通じた抜本的な税財政制度の再構築として、地方消費税など景気に左右されにくい安定的な税源の確保が急務である。

財政の中期見通しと健全化への取組

平成22年度当初予算策定時

4 今後の取組

～ 富国有徳の理想郷 “ふじのくに” づくりを支える財政基盤の確立 ～

(1) 県自らの取組

“ふじのくに” の “豊かさ” の向上

- 「生んでよし 育ててよし」の理想郷づくり
 - ・ 子育て、健康福祉の充実や安全・安心など、明るい展望の描ける社会環境の整備
- 「学んでよし 働いてよし」の理想郷づくり
 - ・ 教育の充実、“ものづくり”と“ものづかい”の結合による産業構造の転換など本県産業の強化
- 「住んでよし 訪れてよし」の理想郷づくり
 - ・ “ふじのくに”の魅力向上による定住促進や交流の増大がもたらす社会活力の向上

新たな総合計画に基づく富国有徳の理想郷 “ふじのくに” づくりの実現

“ふじのくに” を支える効率的で効果的な行政運営の実現

- 歳出のスリム化
 - ・ 「事業仕分け」に基づく事業の見直し、外郭団体の見直し、アウトソーシングの活用、事務事業の徹底した見直し ほか
- 歳入の確保
 - ・ 市町との協働による税収確保、未利用財産の売却や有料広告の導入、特定目的基金の活用 ほか

新たな「行財政改革プラン」に基づく徹底的な行財政改革の実施

財政の中期見通しと健全化への取組

平成22年度当初予算策定時

(2) 国への提言

○ 地域主権の実現

- ・ 真の地域自立を実現するための地域主権改革の実現
- ・ 地域主権戦略会議や「国と地方の協議の場」等を通じた地方の意見の反映

○ 持続可能で予見可能性の高い地方税財政制度の構築

- ・ 住民に身近な行政サービスを安定的に提供するための一般財源総額の確保
- ・ 行政サービスと負担の不均衡の解消に向けた地方消費税等の税財源の充実
- ・ 国、地方を通じた中長期的な税財政の枠組みの提示

「財政の中期見通し」の前提条件

○ 経済成長率：内閣府試算（平成21年6月「中長期の道ゆきを考えるための機械的試算」）に用いられた経済成長率を使用

⇒ ケース1：世界経済順調回復シナリオ H23： 1.5% 、H24： 1.8% 、H25： 2.1% 、H26： 2.3%

ケース2：世界経済底ばい継続シナリオ H23：△3.1% 、H24：△2.6% 、H25：△2.0% 、H26：△1.5%

○ 推計方法

区 分		考 え 方
歳 出	人件費	増減員分、退職手当分は推計額
	扶助費	通常分 → 年平均伸び率2.5%（⑱～㉑決算平均伸び率） 後期高齢者医療分・介護保険分・障害者自立支援分→推計額
	公債費	既発行分 → 積上げ 今後発行分 → 利率は、国の試算（ケース1：1.3%～2.5%） （ケース2：1.2%～1.7%）
	災害復旧費	22年度当初と同額
	税収関連法定経費	原則として税収の伸びに連動
	公共・直轄	公共・直轄分 → 前年×1.0+積上げ 単独（通常分） → 22年度当初と同額
	単独	単独（主要事業） → 積上げ
	その他の経費	原則として22年度当初と同額 選挙経費は実施年度の推計額
歳 入	県税	名目経済成長率×弾性値（1.1）+税制改正影響分（～22年度税制改正分）
	地方消費税清算金	地方消費税に連動
	地方譲与税	名目経済成長率×弾性値（1.1）
	地方特例交付金	22年度当初と同額
	地方交付税 +臨時財政対策債	22年度当初同額－税増（減）収分等 一般財源総額を同額で固定し、税収増減等の25%相当分は算定から除外
	国庫支出金	原則として歳出に連動
	県債	原則として歳出に連動
	その他の歳入	原則として、22年度当初と同額 分担金・負担金 → 投資的経費に連動

財政の中期見通しと健全化への取組

平成22年度当初予算策定時

財政の中期見通し <ケース1> 世界経済順調回復シナリオ

試算方法：名目経済成長率 23年度 1.5% 24年度 1.8% 25年度 2.1% 26年度 2.3%

△印減額(単位:億円)

区分	21年度	22年度	前年度 増減額	23年度	前年度 増減額	24年度	前年度 増減額	25年度	前年度 増減額	26年度	前年度 増減額	
	当初											
歳	義務的経費	6,381	6,375	△6	6,388	13	6,419	31	6,502	83	6,542	40
	人件費	3,904	3,805	△99	3,766	△39	3,786	20	3,778	△8	3,721	△57
	うち退職手当	379	340	△39	326	△14	365	39	386	21	368	△18
	扶助費	710	753	43	778	25	803	25	829	26	853	24
	公債費	1,685	1,730	45	1,757	27	1,743	△14	1,808	65	1,881	73
	うち臨時財政対策債分	133	157	24	214	57	254	40	304	50	399	95
	災害復旧費	82	87	5	87	0	87	0	87	0	87	0
	税収関連法定経費	1,213	1,097	△116	1,112	15	1,140	28	1,165	25	1,193	28
	義務的経費・税収関連経費以外	3,724	3,793	69	3,839	46	3,601	△238	3,641	40	3,514	△127
	投資的経費	1,814	1,663	△151	1,819	156	1,712	△107	1,720	8	1,631	△89
出	公共・直轄	802	917	115	938	21	926	△12	936	10	901	△35
	単独	1,012	746	△266	881	135	786	△95	784	△2	730	△54
	その他の経費	1,910	2,130	220	2,020	△110	1,889	△131	1,921	32	1,883	△38
合計 A	11,318	11,265	△53	11,339	74	11,160	△179	11,308	148	11,249	△59	
入	県税	4,590	3,700	△890	3,757	57	4,001	244	4,095	94	4,195	100
	うち法人事業税	985	488	△497	494	6	504	10	515	11	528	13
	地方消費税清算金	793	719	△74	730	11	745	15	763	18	782	19
	地方譲与税	276	422	146	429	7	437	8	447	10	459	12
	うち地方法人特別譲与税	246	393	147	400	7	408	8	417	9	428	11
	地方交付税	2,247	3,065	818	3,020	△45	2,865	△155	2,800	△65	2,728	△72
	うち臨時財政対策債	807	1,510	703	1,465	△45	1,310	△155	1,245	△65	1,173	△72
	地方特例交付金	55	49	△6	49	0	49	0	49	0	49	0
	国庫支出金	1,183	1,241	58	1,233	△8	1,252	19	1,286	34	1,244	△42
	県債	777	643	△134	681	38	645	△36	663	18	619	△44
その他の歳入	870	1,040	170	993	△47	696	△297	639	△57	598	△41	
合計 B	10,791	10,879	88	10,892	13	10,690	△202	10,742	52	10,674	△68	

財政の中期見通しと健全化への取組

平成22年度当初予算策定時

財政の中期見通し <ケース2> 世界経済底ばい継続シナリオ

試算方法：名目経済成長率 23年度△3.1% 24年度△2.6% 25年度△2.0% 26年度△1.5%

△印減額(単位:億円)

区分	21年度	22年度	23年度		24年度		25年度		26年度			
	当初		前年度 増減額	前年度 増減額	前年度 増減額	前年度 増減額	前年度 増減額	前年度 増減額	前年度 増減額			
歳	義務的経費	6,381	6,375	△6	6,393	18	6,425	32	6,508	83	6,545	37
	人件費	3,904	3,805	△99	3,766	△39	3,786	20	3,778	△8	3,721	△57
	うち退職手当	379	340	△39	326	△14	365	39	386	21	368	△18
	扶助費	710	753	43	778	25	803	25	829	26	853	24
	公債費	1,685	1,730	45	1,762	32	1,749	△13	1,814	65	1,884	70
	うち臨時財政対策債分	133	157	24	214	57	254	40	302	48	393	91
	災害復旧費	82	87	5	87	0	87	0	87	0	87	0
	税収関連法定経費	1,213	1,097	△116	1,060	△37	1,038	△22	1,016	△22	1,000	△16
	義務的経費・税収関連経費以外	3,724	3,793	69	3,869	76	3,631	△238	3,641	10	3,514	△127
	投資的経費	1,814	1,663	△151	1,819	156	1,712	△107	1,720	8	1,631	△89
出	公共・直轄	802	917	115	938	21	926	△12	936	10	901	△35
	単独	1,012	746	△266	881	135	786	△95	784	△2	730	△54
	その他の経費	1,910	2,130	220	2,050	△80	1,919	△131	1,921	2	1,883	△38
合計 A	11,318	11,265	△53	11,322	57	11,094	△228	11,165	71	11,059	△106	
歳	県税	4,590	3,700	△890	3,571	△129	3,626	55	3,550	△76	3,491	△59
	うち法人事業税	985	488	△497	469	△19	456	△13	446	△10	439	△7
	地方消費税清算金	793	719	△74	694	△25	674	△20	660	△14	649	△11
	地方譲与税	276	422	146	408	△14	396	△12	387	△9	381	△6
	うち地方法人特別譲与税	246	393	147	380	△13	369	△11	361	△8	355	△6
	地方交付税	2,247	3,065	818	3,157	92	3,142	△15	3,202	60	3,247	45
	うち臨時財政対策債	807	1,510	703	1,602	92	1,587	△15	1,647	60	1,692	45
	地方特例交付金	55	49	△6	49	0	49	0	49	0	49	0
	国庫支出金	1,183	1,241	58	1,233	△8	1,252	19	1,286	34	1,244	△42
	県債	777	643	△134	681	38	645	△36	663	18	619	△44
入	その他の歳入	870	1,040	170	993	△47	696	△297	639	△57	598	△41
	合計 B	10,791	10,879	88	10,786	△93	10,480	△306	10,436	△44	10,278	△158

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位: %)

区 分		平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
財 政 力 数	本県	76.7	76.3	72.3	67.7	63.3	62.8	62.4	63.7	65.3	69.6	72.9	76.6	75.6
	全国	48.1	48.3	46.1	42.9	40.5	40.6	40.8	41.1	42.8	46.4	49.7	52.1	55.1
	順位	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	7	7	7
経 常 収 支 比	本県	87.5	96.4	92.2	89.0	90.4	93.2	87.3	91.9	90.9	90.8	93.6	92.5	93.3
	全国	88.3	90.5	87.7	86.6	88.9	91.5	89.1	92.4	92.8	93.6	96.7	95.3	
	順位	24	39	38	34	31	31	15	21	10	4	5	7	
起 債 制 限 率 比	本県	9.8	11.1	12.2	13.1	13.4	13.2	12.8	12.6	11.7	10.3	9.0	8.6	9.5
	全国	10.7	11.1	11.7	12.2	12.6	12.6	12.5	12.6	12.4	12.3	11.8	-	-
	順位	14	23	26	30	29	28	27	22	17	10	8	-	-
実 公 債 質 費 率 比	本県	-	-	-	-	-	-	-	-	12.9	12.4	11.6	11.7	13.1
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	14.5	14.4	14.0	12.8	
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	14	10	9	10	
将 来 負 担 率 比	本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	247.3	248.1	262.6
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	235.1	219.3	
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	28	

※順位は、財政の健全性のある都道府県から1位とした

※指数及び比率の全国の数値は、単純平均の数値

財政関係指標の推移(普通会計)

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額(注1)を基準財政需要額(注2)で除して得た数値の過去3年間の平均値

(注1) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法により算定した額

(注2) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法により合理的に算定した額

【経常収支比率】

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額に対する割合

【起債制限比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを判断する指標で、地方債元利償還金に充当された一般財源の標準財政規模等(注3)に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注3) 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額である標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を加えた額

【実質赤字比率】

地方公共団体の財政運営の悪化度合いを示す指標で、当該地方公共団体の一般会計等(注5)を対象とした実質赤字額(注6)の標準財政規模に対する割合

(注5) 一般会計及び特別会計のうち普通会計に相当する会計

(注6) 実質赤字の額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

【連結実質赤字比率】

地方公共団体全体としての財政運営の悪化度合いを示す指標で、すべての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合

【実質公債費比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを客観的に示す指標で、地方債元利償還金相当額(注4)に充当された一般財源の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注4) 地方債元利償還金に公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金等を加えた額

【将来負担比率】

地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を表す指標で、地方債残高や、将来の公営企業への繰出見込額、退職手当の支給予定額、第3セクターへの損失補償額等の合算額の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区 分		平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
自主財源比率	本県	48.7	51.4	53.4	56.4	63.0	59.7	47.6
	全国	46.2	48.5	50.9	52.9	58.8	56.8	
	順位	8	7	9	8	8	9	
地方税比率	本県	38.6	41.2	44.0	46.8	53.3	50.7	37.8
	全国	31.0	33.3	35.2	37.9	43.1	41.7	
	順位	5	5	5	5	6	5	
法人税比率	本県	13.1	14.2	16.4	18.4	19.4	17.7	7.5
	全国	8.9	10.2	11.6	13.4	14.1	13.0	
	順位	5	5	5	5	5	5	

【自主財源比率】

地方財政の自主性がどの程度発揮できるかを示す指標で、県が自主的に確保できる収入の歳入全体に対する割合

[地方税+地方消費税精算金+分担金及び負担金+使用料及び手数料+財産収入+寄附金+繰入金+純繰越金(前年度実質収支)+諸収入]÷歳入合計

【地方税比率】

地方税収入の歳入全体に対する割合

【法人税比率】

地方税のうち法人二税(法人県民税・法人事業税)収入の歳入全体に対する割合

平成20年度 静岡県の財務諸表

平成19年10月に総務省が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」に基づく「総務省方式改訂モデル」により、貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書からなる、平成20年度の財務諸表を作成しました。

1 貸借対照表

		平成20年度決算		平成19年度決算	
		普通会計	連 結	普通会計	連 結
資産の部	公共資産	5兆 599億円	5兆6,335億円	5兆 813億円	5兆6,527億円
	有形固定資産	5兆 475億円	5兆6,211億円	5兆 678億円	5兆6,391億円
	売却可能資産	124億円	124億円	135億円	136億円
	投資等	3,028億円	2,998億円	2,890億円	2,950億円
	投資等	3,054億円	3,043億円	2,915億円	2,994億円
	回収不能額	△26億円	△45億円	△25億円	△44億円
	流動資産	2,912億円	3,718億円	2,786億円	3,733億円
	現金預金等	2,920億円	3,729億円	2,793億円	3,744億円
	回収不能額	△8億円	△11億円	△7億円	△11億円
	繰延勘定	—	29億円	—	28億円
	資産合計 A	5兆6,539億円	6兆3,080億円	5兆6,489億円	6兆3,238億円
負債の部	固定負債	2兆7,431億円	3兆 16億円	2兆7,012億円	2兆9,705億円
	流動負債	1,987億円	2,505億円	1,847億円	2,513億円
	負債合計 B	2兆9,418億円	3兆2,521億円	2兆8,859億円	3兆2,218億円
	純資産 A-B	2兆7,121億円	3兆 559億円	2兆7,630億円	3兆1,020億円

貸借対照表のポイント

売却可能資産の把握

- 現在未利用の普通財産及び平成24年度までに未利用となる行政財産・普通財産のうち「県有施設整備委員会」において処分が方針決定されているものを「売却可能資産」として計上している。
- 売却可能資産の評価にあたっては、簿価ではなく固定資産税評価額を基に算出するなど「公正価値(時価)評価」により算出。この「売却可能資産」については、具体的な「売却計画」を策定・公表している。(※「売却計画」は平成20年12月策定・21年12月見直し)。

<売却可能資産の内訳>

(単位:千円)

区 分	内 訳	取得価額 A	回収可能価額 B	評価差額 B-A
学校跡地等	清水工業高校、静岡工業高校、下田南高校など5件	117,521	6,187,658	6,070,137
職員住宅敷地	知事部局関係14件、教育委員会関係24件、警察関係14件	267,383	2,139,730	1,872,347
庁舎等の施設敷地	知事部局出先機関、警察交番など22件	751,059	2,366,931	1,615,872
その他	県営住宅、廃川敷地など10件	41,805	1,716,178	1,674,373
	合計	1,177,768	12,410,497	11,232,729

平成20年度 静岡県の財務諸表

2 行政コスト計算書

	平成20年度決算		平成19年度決算	
	普通会計	連 結	普通会計	連 結
経常行政コスト A	9,370億円	1兆 342億円	9,441億円	1兆 539億円
経常収益 B	257億円	1,165億円	257億円	1,190億円
純経常行政コスト A-B	9,113億円	9,177億円	9,184億円	9,349億円

3 純資産変動計算書

	20年度末純資産額 A	19年度末純資産額 B	変動額 A-B
普通会計	2兆7,121億円	2兆7,630億円	△509億円
連 結	3兆 559億円	3兆1,020億円	△461億円

4 資金収支計算書

	20年度末資金残高 A	19年度末資金残高 B	変動額 A-B
普通会計	122億円	132億円	△10億円
連 結	601億円	686億円	△85億円

平成20年度 静岡県 の財務諸表

新地方公会計制度導入に基づく財務諸表の作成

新たな公会計制度にいち早く対応するため、従来の「総務省方式」を改め、平成19年度及び20年度決算は「総務省方式改訂モデル」により財務諸表を作成し、平成21年度決算からは複式簿記を導入する「基準モデル」により作成する予定です。

		総務省方式 (⑩～⑱決算)	総務省方式改訂モデル (⑲、⑳決算)	基準モデル (21決算～)
公共資産	範囲	昭和44年度以降の決算統計の積上げ	決算統計の積上げに加え、決算統計では把握していなかった資産について可能な限り計上	全資産
	区分及び評価	区分: 目的別 評価: 取得原価	区分: 目的別 売却可能資産 評価: 取得原価 売却可能資産など一部に公正価値(時価)評価	区分: 事業用資産(売却可能) インフラ資産(上記以外) 評価: 全て公正価値(時価)評価
	減価償却	取得年度から開始	取得年度の翌年度から開始	同左
回収不能見込額		—	貸付金、未収金等のうち回収不能と見込まれる額を計上	同左
投資・出資		簿価	実質価格を算定し評価	同左
複式簿記		未導入	未導入	導入
公社・3セク(県出資25%以上)の連結		貸借対照表	貸借対照表に加え、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の4表を作成	同左

県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)

(単位:億円)

区分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
一般会計(A)	14,963	16,959	18,225	18,790	19,692	20,519	21,184	21,283	21,419	21,505	21,732	22,346	23,782	24,801
通常債	14,963	16,959	18,225	18,790	19,521	19,930	19,858	19,508	19,296	19,045	18,994	19,272	19,610	19,218
特例債	0	0	0	0	171	589	1,326	1,775	2,123	2,460	2,738	3,074	4,172	5,583
特別会計(B)	1,237	1,296	1,336	1,337	1,302	1,286	1,208	1,446	1,373	1,282	1,259	1,224	1,153	1,134
県営住宅事業	0	0	0	0	0	0	0	299	281	262	247	242	220	221
母子寡婦福祉資金	16	12	13	14	15	17	19	19	20	21	21	22	23	24
農業改良資金	15	11	8	5	4	3	2	4	4	6	5	6	8	9
中小企業振興資金	611	617	622	601	555	498	407	357	307	254	309	287	274	257
清水港等港湾整備事業	220	259	281	293	304	350	368	364	361	347	294	289	262	262
流域下水道事業	357	380	396	409	409	409	403	395	392	385	376	371	361	361
林業改善	3	3	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県営林事業	15	14	14	13	13	9	9	8	8	7	7	7	5	0
企業会計(C)	1,004	954	941	1,024	1,286	1,378	1,342	1,278	1,217	1,235	1,202	1,218	851	840
県立病院事業	171	176	205	198	192	234	243	247	256	327	347	379	0	0
がんセンター事業	0	0	0	119	404	516	519	508	519	487	452	443	469	470
工業用水道事業	159	171	176	183	189	186	182	178	172	165	157	149	141	137
水道事業	278	272	273	276	272	263	256	256	254	256	246	247	241	233
地域振興整備事業	396	335	287	248	229	179	142	89	16	0	0	0	0	0
計(A+B+C)	17,204	19,209	20,502	21,151	22,280	23,183	23,734	24,007	24,009	24,022	24,193	24,788	25,786	26,775

※県債残高の平成21年度以前は決算ベース、平成22年度は年間見込みベース

※通常債とは、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金及び病院債を除いた県債

※平成16年度より県営住宅事業特別会計を設置

※県立病院事業会計は平成21年4月1日の地方独立行政法人化に伴い廃止。残高は一般会計に計上。

2. 県民一人あたり県債残高(普通会計)

(単位:千円)

区分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
本県	416.3	466.9	502.0	515.7	538.0	557.8	572.5	581.7	583.2	583.7	590.7	606.5	644.3
全国平均	457.2	499.2	534.1	550.7	566.5	588.6	610.2	624.0	622.2	622.4	626.4	631.3	—
順位	15	16	16	14	14	14	15	15	15	15	15	16	—

※順位は47都道府県のうち残高が少ない方から1位とした。

財政5基金の年度末残高の推移

(単位:億円)

区 分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
財政調整基金	147	4	4	4	84	84	128	125	116	106	32	88	88	9
県債管理基金	1,389	1,451	1,318	1,382	1,588	1,643	1,846	1,962	2,124	2,321	2,551	2,630	2,423	2,429
うち一般会計分	1,228	1,192	921	664	645	522	545	491	454	462	421	454	331	45
庁舎建設基金	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
土地開発基金	206	118	120	121	123	124	126	87	78	70	61	57	57	37
大規模地震災害対策基金	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
合 計	1,763	1,595	1,464	1,529	1,817	1,873	2,122	2,196	2,340	2,519	2,666	2,797	2,590	2,497
うち一般会計分	1,602	1,336	1,067	811	874	752	821	725	670	660	536	621	498	113

※残高の平成21年度以前は決算ベース、平成22年度は見込額

※大規模地震による災害が発生した場合、災害復旧等に要する経費として、

各基金より大規模地震災害対策基金に繰入ることが可能であることが条例において規定

減債基金への積立ての状況

積立ルール

県債発行額の3.7%(27分の1)を3年据え置き後、
毎年積み立て

(単位:億円)

区 分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
満期一括分残高(実償還ベース)	10,881	12,495	14,309	15,846	17,470	19,110	20,198	21,709	23,541
公募公債	6,930	7,580	8,980	10,380	11,860	13,124	14,374	16,937	18,574
銀行等引受債	3,951	4,915	5,329	5,466	5,610	5,986	5,824	4,772	4,967
積立残高	1,047	1,226	1,442	1,641	1,832	2,109	2,155	2,080	2,372

プライマリーバランスの推移

○臨時財政対策債は、地方交付税の振替であるため、一般財源として算定

(単位:億円)

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
歳入 A	12,237	11,856	11,672	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146
県債	1,941	1,862	1,676	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340
通常分 B	1,626	1,125	1,150	945	890	1,096	1,437	1,531
臨時財政対策債	315	737	526	403	364	329	400	809
財源不足額 C	149	16	125	87	45	158	4	156
差引 D(A-B-C)	10,462	10,715	10,397	10,294	10,407	10,174	9,994	10,459
歳出 E	12,109	11,693	11,553	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040
公債費 F	1,684	1,727	1,735	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678
差引 G(E-F)	10,425	9,966	9,818	9,561	9,642	9,736	9,732	10,362
プライマリーバランス H(D-G)	37	749	579	733	765	438	262	97

注1)各年度数値は決算額

注2)財源不足額は、財政5基金の取崩額

静岡県公募公債の発行状況

1. 発行額の推移

(単位: 億円)

区分	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
個別発行	5年債				200	200	200	200	600	400	400	300	800	500	
	10年債	750	680	750	680	500	700	600	800	1000	900	800	900	1,300	1,300
	20年債								200	300	200	400	300	200	
	30年債										200	200	200	200	
	合計	750	680	750	680	700	900	800	1000	1800	1600	1600	1800	2,600	2,200
共同発行						400	600	600	600	600	600	600	600	800	
総計	750	680	750	680	700	900	1200	1600	2400	2200	2200	2400	3,200	3,000	

※平成22年度は予定額

2. 最近の発行条件

	償還年限	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利	
平成21年度	5月	10年	100億円	1.58%	99.93円	1.588%	13.5bp	1.452%
	6月	10年	100億円	1.65%	99.93円	1.658%	11.5bp	1.542%
	7月	5年	200億円	0.77%	99.98円	0.774%	10.0bp	0.673%
	8月	10年	200億円	1.56%	99.97円	1.563%	11.5bp	1.448%
		20年	200億円	2.243%	100円	2.243%	10.0bp	2.143%
	10月	5年	200億円	0.65%	99.97円	0.656%	8.0bp	0.576%
		10年	300億円	1.35%	99.98円	1.352%	9.0bp	1.262%
	11月	5年	200億円	0.79%	99.99円	0.792%	9.0bp	0.690%
		10年	200億円	1.54%	99.99円	1.541%	9.0bp	1.455%
		20年	100億円	2.227%	100円	2.227%	8.0bp	2.147%
	12月	30年	200億円	2.381%	100円	2.381%	14.0bp	2.241%
		10年	200億円	1.35%	99.99円	1.351%	8.0bp	1.271%
	3月	5年	200億円	0.59%	99.98円	0.594%	6.5bp	0.528%
		10年	200億円	1.40%	99.97円	1.403%	6.5bp	1.338%

	償還年限	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利	
平成22年度	4月	5年	100億円	0.618%	100円	0.618%	6.5bp	0.553%
		10年	200億円	1.455%	100円	1.455%	6.0bp	1.395%
	5月	5年	100億円	0.518%	100円	0.518%	5.5bp	0.463%
		10年	100億円	1.379%	100円	1.379%	6.0bp	1.319%
	6月	10年	200億円	1.315%	100円	1.315%	3.0bp	1.285%
		20年	100億円	2.072%	100円	2.072%	6.0bp	2.012%
	7月	5年	100億円	0.391%	100円	0.391%	4.5bp	0.346%
		10年	100億円	1.178%	100円	1.178%	4.0bp	1.138%
	8月	10年	200億円	1.059%	100円	1.059%	5.0bp	1.009%

お問い合わせ：静岡県 経営管理部 財政課

メールアドレス：zaisei@pref.shizuoka.lg.jp

T E L：054-221-2034

静岡県IRサイト：<http://www.pref.shizuoka.jp/governor/ir2002/index.html>

F A X：054-221-2750